

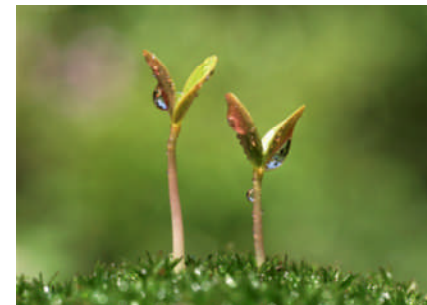
人むすびの場

第15回テーマ
“いま、なぜ限界集落なのか”

日時	平成21年9月18日(水) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「いま、なぜ限界集落なのか」
友廣 裕一さん
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 高重 和枝
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

「いま、なぜ限界集落なのか」

ゲストスピーカー 友廣 裕一さん



「限界」なんかじゃない！「絶望さえも希望に変わる」エネルギーに満ちた無限の可能性をもった地域なんです。

- 「地域を見たい」と思って、限界集落を訪ねるプロジェクトを始めました。約6ヶ月間、70町村の農山漁村の「民家」だけに泊まりました。
- なぜ、旅に出ようと思ったかは、学生時代の体験がもと。ミクロネシア連邦ヤップ島での自給自足生活の体験や新潟県南魚沼市を訪れる機会がありました。
- そこでの暮らしが、心を動かされる魅力があったのです。冷たい白黒ではなく、興味をもって行ってみたい、と思うような地域の鮮やかな今の情報を伝えたいと思いました。
- 問題解決型ではなく、できることをやっていくポジティブ・アプローチが大事だと思ってましたので。
- お金は極力使いませんでした。お金は関係性を切ります。だから、ヒッチハイクをして紹介をたよりに、人の縁だけをたどって、300人以上と出会いました。
- 旅を終えて感じていることは、人の「生き様」に触れてきたということです。地域の最小&最大単位は「家族」だと感じました。一人ひとりの人と向き合う180日を繰り返しました。
- 誇らしげに「米がうまいよ～」なんて話す言葉に、『限界』ってなんだ...?』と思いました。限界は、物理的な要因ではない。そこには「限界」ではないエネルギーがありました。つくり上げられた「雛型」から脱却していく必要があります。「何か」によって豊かになろうと思う都会の方こそ学ぶ必要がある！
- 水俣の地元学の吉本さんは言われます。「人様は変えられない。自分たちが変わらなくてはならない」「絶望さえも希望に変わる」。水俣は、食の大切さを知っている。だからこそ、世界に安全な食べ物を届けたい、と「環境」をまちづくりのキーワードにしています。
- いろいろ回って、「田舎を消費するのはやめてね」と言われました。都会から見たときには話題性があるが、自分と地域を切り離してしまいます。今、都会の人が内側から変わりたいのか？が問われています。

【友廣 裕一さん 経歴紹介】

大阪出身。08年3月早稲田大学商学部を卒業。

学生時代は早稲田リンクス幹事長として早稲田の街で学生と地域をつなぐ『街プロジェクト』を企画。

商店会と一緒に「南門ストリートフェスティバル」の開催や「フリーペーパー」の発行などを行う。

その後、社会起業家のビジネスプランコンテスト「STYLE4th」の運営に関わり社会を良くするという目的のために、手段として事業を行う方々と出会う。



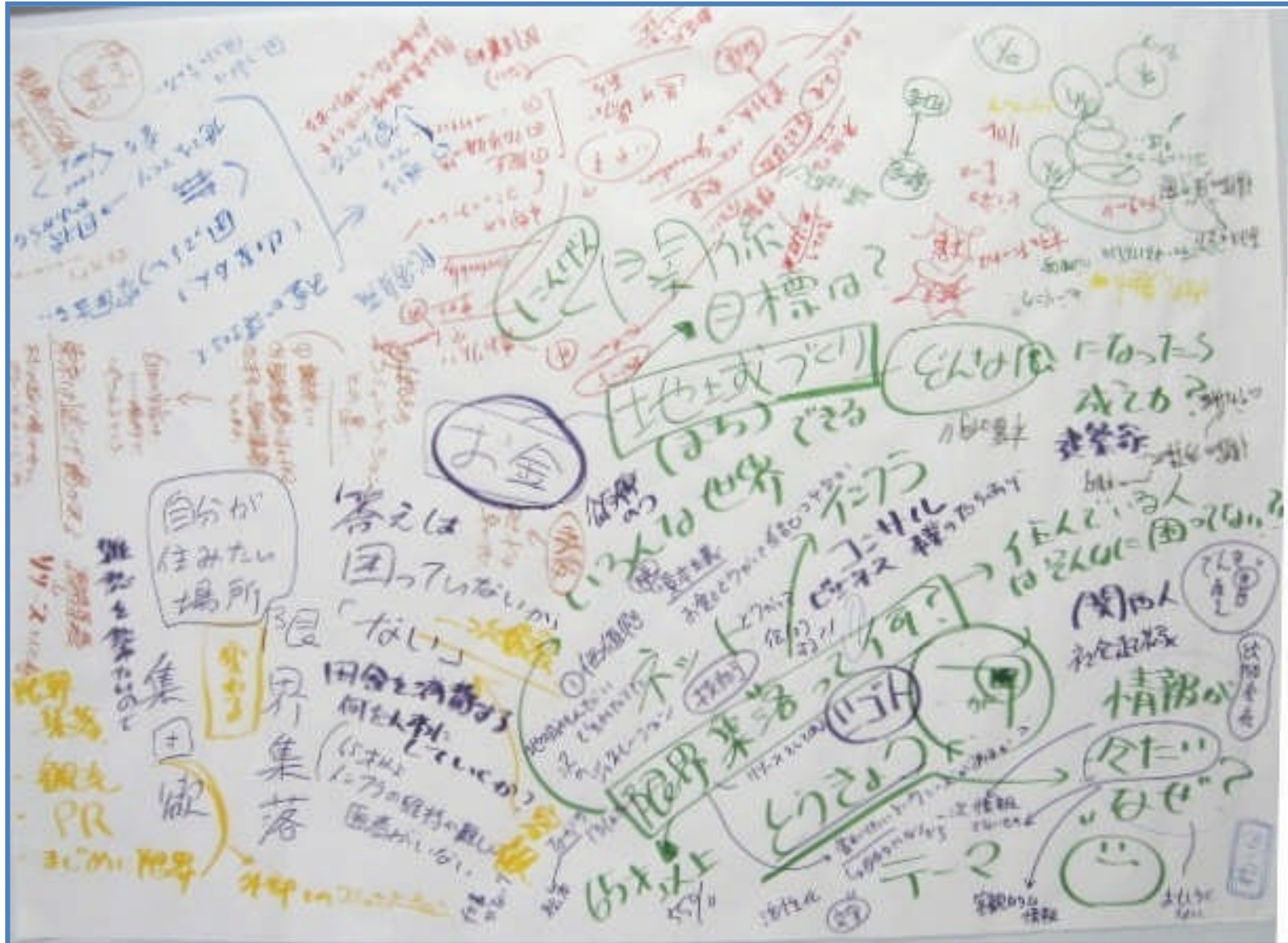


人むすびカフェ



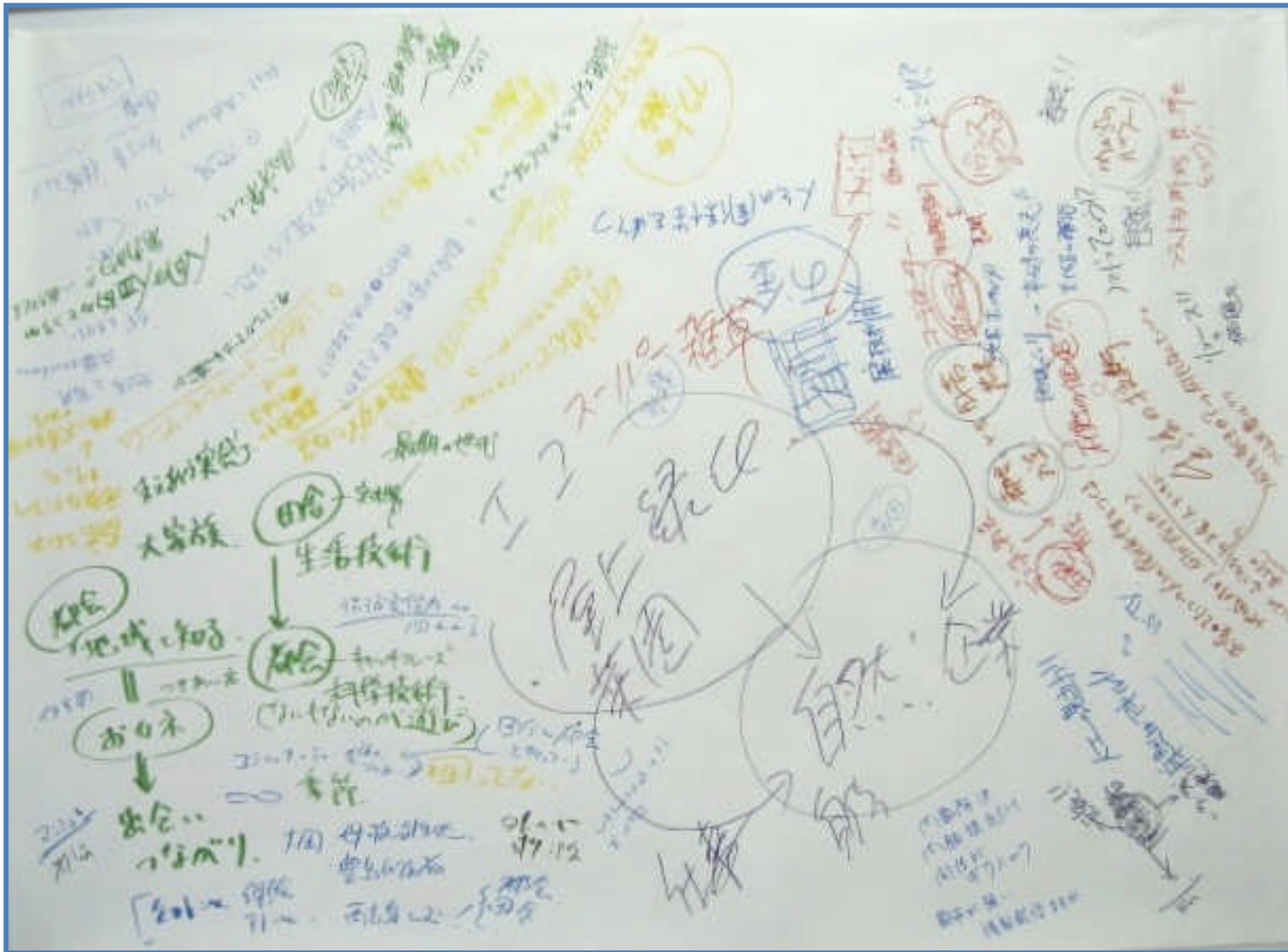
人むすびカフェ

「限界集落のお話から、今後の地域づくりをどのように考えますか？
私たちにどんな行動が必要でしょうか？」



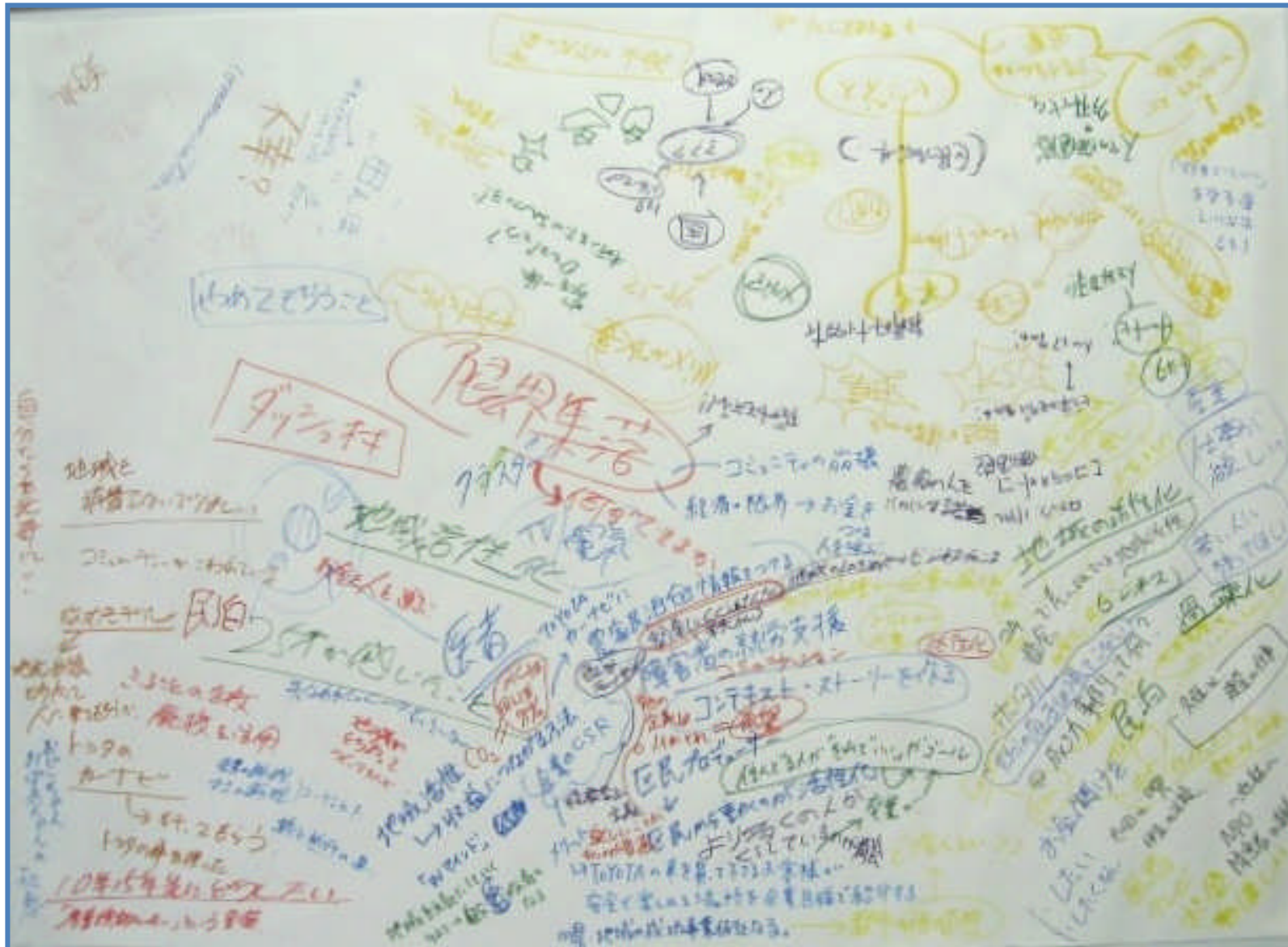
人むすびカフェ

「限界集落のお話から、今後の地域づくりをどのように考えますか？
私たちにどんな行動が必要でしょうか？」



人むすびカフェ

「限界集落のお話から、今後の地域づくりをどのように考えますか？
私たちにどんな行動が必要でしょうか？」



人むすびカフェ

「限界集落のお話から、今後の地域づくりをどのように考えますか？
私たちにどんな行動が必要でしょうか？」

お金と人 → 人との関係性をつくる
地域作り。何が成功??
つこの ↓ではな → お金・人を呼ぶ。
あるもの。

生活の場、場所にはいても
仕事がない。 → 町へ出る。

い五人でいる人
はそんな風に困っている?

自分の家は
いい場所だ。
いふと子とる。
東京は水いけ場かえり
村は水いけ場かえり
村へかえりいぬ。

22 = 6 30
活性剤

不便の価値!!

TOYOTA
カーシェアに
豊家民泊台情報をつくる
金額に... (id, ct, tu)

本日の感想①ー1

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・いろいろな分野の方の参加あり、多種の話を聞いて良かったです。
- ・たぶん世の中急激に変わるでしょう。新しい価値観が生まれていることを実感
- ・都会、地方などそれぞれのもつ価値観と住む人の認識など
- ・みなさん、キッカケを求めているコト。整理する事と解決する事。
- ・物事にはカゲの部分があり、問題解決の根本とはまずそのカゲの部分を知ること
- ・自分でも始めての人と会話ができる？
- ・言葉は共有性をつくりあげるが、言葉でひとくり(ひと言)にするのもよくない
- ・限界集落に住むことをpositiveに考える一方、自給自足ではまかなえない最低限のお金は要るようだ、ということ。

本日の感想①-2

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・限界集落の問題は特別なことではなく、ふつうの地域問題と同じだ
- ・感謝の気持ちが幸せにつながる気がする
- ・皆様の思いが私と近い所にある事
- ・都市がダメになるという自らの危機意識
- ・地域づくりって誰が言い出したの？というその必要性のギモン。
何かしようというか、何をしたいのか、地方の良さや宝を、都市や企業、マスコミのものさしで消費してる？
- ・ワールドカフェに参加して、ぼくにしか伝えられないことが伝わった感じがあった。これを育てていくか。持ち帰ってもらえるかが大事。
- ・世代感

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・現地の方の参加があれば良かったかな
- ・自分たちが元気になる。「地域を消費しないでほしい」
- ・素でリアルにコミュニケーションすること
- ・価値、情報、コミュニケーション、地方、都会
- ・成功事例って何？
- ・地域づくり(以前も今も私にとっては意味不明)
- ・都会と田舎のバランス
- ・東京の人も不幸(限界集落)
- ・自給自足とお金
- ・お金は人との関係性をたつ
- ・人とのつながりが幸せへの重要要素
- ・我々が何かする必要があるのか・・・
- ・同時に都市と田舎という区分の危うさ
- ・都市の価値観をどう変えていくか

本日の感想③

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・参加して大変良かったです
- ・この問題かなり深いし、いろいろと議論できると感じました。テーマは多様だ。
- ・限界集落は豊かなリソースや価値観の宝庫かも。
- ・現状のバランスが異常な気もしました。(都市と田舎)
- ・進行など面白かった
- ・私事(しごと)→ 仕事 →シゴト
- ・違った視点のご意見をいつも以上に聞けたように思います。
- ・若い人の話が聞けてよかった
- ・数少ない参加だったが、いつになく時間が短かった。
- ・300人に出会った地方の話をもっときいてみたかった。
- ・限界集落に住むのはムリという声が出たので、もう少し自分の地域をよくする・・・という自分事にしてほしかったと思いました。

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。